

平成 30 年（2018 年）12 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 4 日 目 ）

平成 30 年 12 月 14 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 労働行政について	「仕事休もっ化計画」の概要と、計画に対する本市の取り組みを問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 人権教育について	(1) 平成 28 年 6 月定例会以降の子どもの権利 条例についての調査研究の状況を問う (2) 学校で体系的に子どもの権利について学 ぶ機会はあるか問う (3) 第 2 次那覇市教育振興基本計画における 人権教育の取り組みの内容を問う (4) 子どもの「休む権利」について見解を問う
		3 衛生行政について	(1) ハブとの共生について見解を問う (2) うどうん山公園はじめ、市内のハブの捕獲 と咬傷事故の状況について問う (3) ハブの生息地について県と共同で調査を し、良好な住環境、観光環境の保持に努める 必要があると考える。見解を問う
		4 市立病院について	(1) ロビーなどを活用したコンサートの実績 と評価を問う (2) ホスピタルアートの活用について見解を 問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	公園行政について	(1) 市内公園の数と面積及び維持管理費の推移を問う (2) 維持管理費で行う業務内容について問う (3) 「民間活力を活かした公園活性化事業」の検討状況について問う (4) 市長公約「公園 PFI を活用した民間活力による整備」の内容を問う
			【質問方式】 一問一答方式 (質問席のみ)
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	吉 嶺 努 (自 民 党)	1 市長公約について	市長公約について伺う 城間幹子市長の公式サイト内には「10 の約束」として政策が掲げられている その中に、「事業者の雇用者スキルアップ研修事業等への助成制度を創設します。また、ワークライフバランスなど、働く人の環境を整え、若者の起業・創業支援、中小企業の実態把握とニーズ分析による支援事業を展開します。」という公約がある (1) 飲食店で働く従業員の外国人への接客のための英語教室、学童を含めた保育や幼児教育を担う方々への救急法普及、中小企業の災害時事業継続計画や避難計画の策定援助などにも使えるような幅広い助成制度となるよう提案するが、事業者の雇用者スキルアップ研修等への助成制度とはどのようなものが、いつから開始になる予定か伺う (2) 平成 30 年 2 月にも質問したが、当時専属産業医の選任義務さえ果たしていなかった那覇市役所では、ワークライフバランスなど働く人の環境を整えるための産業保健体制は改善されたのか また、消防局は人員不足で、消防職員の過重労働対策は急務だと考える。消防職員に特化して産業医を雇用している市町村もあり、那覇市も是非検討してはどうか、見解を伺う (3) 若者の起業・創業支援はどのようなものが、いつから開始になる予定か (4) 中小企業の実態把握とニーズ分析による支援事業はどのようなものが、いつから展開される予定か

質問方式

総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 障がい者支援について	クリーン推進課が行なっているアシスト収集について伺う アシスト収集とは、10 年ぐらい前からクリーン推進課が実施している、ゴミを戸外に出すことが困難な市民に対して玄関まで取りに行く市民サービスである。これについて、クリーン推進課の皆さんには個別回収に加えて、更に手間がかかることであるが、高齢者の安否確認になっていることに、感謝申し上げたい (1) 現在那覇市内でこのサービスを受けている方はどれくらいおられるか。このサービスがあることを、ご高齢の方や障がい当事者、またはそのご家族にお伝えする方法はどのようなになっているか。手続き等も含め、どのようにこのサービスが提供されているのか、教えていただきたい (2) 災害対策の中で、障がいがある方の情報を把握するのが難しいということが言われているが、このアシスト収集を行なっている方々の情報というのは、災害弱者がどこにいるのか、という情報そのものであるとも考えられるが、この情報を災害対策として、地域と共有する仕組みづくりをすることについて、市長の見解を伺う
		3 防災行政に関すること	(1) 防災士の活用について 2018 年 9 月 5 日の産経新聞に報道されたことだが、岩手県議会の県議 46 人が震災時の経験をもとに、防災士取得を目指し、防災施策に生かしたいという記事があった。翻って那覇市では、防災士養成講座が開催された。これにより、那覇市の防災士は増加したと考えるが、何人になったのか。今回誕生したものも含め、防災士有資格者に現時点までに那覇市はどのようなアプローチを行い、那覇市の防災行政を充実させようとしているのか、今後も防災士の養成に継続的に取り組むのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			防災に取り組む一つとして、防災士を養成する取り組みは素晴らしいと思うが、最も大事なことは、那覇市が今後、防災士にどのような活動を期待し、民間活力としての防災士とともに、どのような防災施策を行うのか、ということではないだろうか。市長の見解を伺う (2) 那覇市地域防災計画改定について 昨年の12月、那覇市地域防災計画に、車中泊避難についての規定がないことを指摘し、前向きな回答をいただいたが、その後どうなったか (3) 災害弱者対策について 那覇市防災対策検討女性チームが4年ぶりに設置されたとの報に接し、議会で繰り返し災害弱者である女性による会議の開催を訴えてきたことが実現し、大変嬉しく思う。今後、こども防災会議、聴覚障がいや肢体不自由等の障がい当事者による防災会議へと発展して欲しいと考えているが、市長の見解を伺う (4) 避難所運営について 台風24号25号の際の、避難所運営について伺う。今回の台風では、那覇市内でもかなり広範囲に停電が続いた。多くのご家庭がエアコンも使えない。トイレも流せないという状況になっていた。この時、避難場所として、解放した公共施設はあるか、また正式に避難所として開設した場所はあるのか、広範囲の数日にわたる停電に対して、市が取り組んだこと、実際の避難所運営を通して、課題を見つけ、改善しておけば、本当に大きな災害時には力を発揮すると考えるが、市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長

一般質問（４日目） 平成30年12月14日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	久 高 友 弘 (自 民 党)	1 御茶屋御殿 の復元について	(1) 平成 18 年 12 月定例会において「国の責任 で御茶屋御殿の早期復元を求める意見書」が 全会一致で議決された。あれから 12 年、那 覇市が早期復元のためにどういう行動をし たか。伺う
			(2) 平成 19 年に設置された国、県、市による ワーキンググループの設置目的は何か。伺う
			(3) 那覇市は平成 28 年度に石垣の現況確認の 写真測量を行い、その測量データをもとに図 面作成が平成 29 年 1 月 31 日に完了したとの ことだが、何のためにこの作業をしたのか。 また、この図面は何をするために使用され たのか。伺う
		2 弁之御獄に ついて	県指定史跡「弁ヶ獄」が国指定史跡「弁之御獄」 に指定され、あわせて国指定名勝「アマミクヌ ムイ」に追加指定されるとのことだが、いつ頃 までに復元される予定か。また早速、予算化が 来年からなされるか。伺う
		3 市道崎山 8 号について	(1) 市道崎山 8 号の拡幅の必要性について質 問したところ当局から「道路整備計画を立案 するに当たりましては、現況調査、交通量調 査、将来の交通量も含め周辺地域の土地利用 計画を踏まえる必要があります。御茶屋御殿 の計画も周辺土地利用計画の要素として考 えることから今後、御茶屋御殿ワーキンググ ループの議論の状況を見ながら関係部局と 調整してまいりたいと考えております。」と 答弁していたが、道路拡幅の件でワーキング グループの意見を聞かれたことがあるか。伺 う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 平成 28 年度に市道崎山 8 号の交通量調査と城南小学校の全児童、父兄を対象に通学路に利用している道路や通学路に対する意見についてのアンケート調査を行ったそうだが、その調査結果を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 玉陵（たまうどうん）の国宝指定について 2 子どもの養育支援について 3 子ども食堂について 4 環境行政について	国の文化審議会は、2018 年 10 月 19 日、本市の首里城の西側に位置する琉球第二尚王統の王陵で、三代 尚真王により 1501 年に築造された、陵墓「玉陵」を国宝に指定するよう文部科学相に答申、今年度内に正式に指定される見込みである。戦前の沖縄には建造物だけで首里城正殿など 22 件の国宝があり、京都府や奈良県に次ぐ規模だったが、沖縄戦ですべて滅失し、沖縄から国宝が消えた。そして、戦後できた文化財保護法のもとでは県内の建造物として初めての国宝指定となる。うちなーんちゅとして誇らしい。琉球王国の文化がしっかり刻まれた建造物が国宝に指定される意義について見解を問う (1) 離婚とひとり親世帯の状況について問う (2) 離婚後の養育費の受給状況について問う (1) 子ども食堂の現況、成果、課題について問う (2) 小中学生の朝食接種状況について問う (1) 本市は、2014 年に「第 2 次那覇市環境基本計画」を策定し、「人・自然・地球にやさしい 環境共生都市 なは」をめざし、総合的かつ計画的に施策を推進している。今回の中間地点での同計画の見直しの目的について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 2014 年の第 2 次那覇市環境基本計画策定の後、世界では、2015 年 9 月に「持続可能な開発目標」(SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」採択。2015 年 12 月に国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議 (COP21) で「パリ協定」を採択。2017 年 12 月に国連環境総会 (UNEA3) で「海洋プラスチックごみ及びマイクロプラスチック」に関する決議採択。国内では、2018 年 4 月に第 5 次環境基本計画の策定。2018 年 6 月に「環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針」の閣議決定。海岸漂着物処理推進法改正。第 4 次循環型社会形成推進基本計画の閣議決定などがあった。現在、国連はポーランドで COP24 を開催中で、パリ協定を履行するための作業プログラムを完成させるための論議を行っている。これら国内外の動向を中間見直しでどう反映させるのかについて問う (3) 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与するために、環境や環境問題に対する興味・関心を高め、必要な知識・技術・態度を養うための環境教育・学習の重要性について問う
		5 米軍新基地建設について	にじてい にじらん 辺野古新基地建設の土砂投入。県知事選で新基地反対を明確に訴えたオール沖縄・玉城デニー氏の圧勝など、幾度も示された沖縄の民意よりも、日本の法律よりも、アメリカを最優先し、米軍のための新基地建設を不法・不当を重ねて問答無用に強行する安倍自公政権の暴挙は言語道断である。沖縄県民に寄り添うと言いながら対立を持ち込み、うちなーんちゅを愚弄する安倍自公政権の強権政治に対する見解について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	小波津 潮 (なは立志会)	1 市民の所得について	(1) 本市の一人あたりの所得の推移、評価を伺う (2) 今後における本市の考え方、課題を伺う
		2 観光行政について	(1) 観光振興策の現状と当面の重点目標を伺う (2) インバウンド戦略の現状と課題を伺う (3) 観光公害への取り組みについて伺う
		3 本市における犯罪情勢について	本市における犯罪、交通事故、違反について以下伺う (1) 犯罪及び交通事故、飲酒運転の取り締まりの動向について伺う (2) 少年犯罪の状況はどのようなになっているか伺う (3) 犯罪を行った少年を更生させるためにどのような対応を行っているのか伺う
		4 地方再犯防止推進計画について	本市としては、どのような体制で取り組みどのようなスケジュールで計画するか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	栗 國 彰 (自 民 党)	1 県産三線普及促進について	国の産業構造審議会は、沖縄の三線を国の伝統的工芸品指定している。しかし、年間 2 万挺が販売されているが、県産三線は、その 1 割、2 割と言われている。本市としての県産三線技術者への行政支援、養成について伺う
		2 観光行政について	観光施設における外国人観光客との言葉によるコミュニケーション課題を問う
		3 文化行政について	琉球国王、尚家関係資料をパレットくもじの中の歴史博物館に展示している。年間の見学者の人数を問う
		4 認知症対策について	認知症があり、外出等で行方不明者となり、交通事故やその他事故、事件にまきこまれるケースが多くなり得ると聞くが、その対応を問う
		5 児童虐待について	無抵抗の子どもを殴ったり、火傷を負わせたり、食事を与えなかったり、その他の虐待が年々増加して、児童相談所に寄せられた相談が多いと聞いているが、本市の状況を問う
		6 学校施設のクーラー設置について	本市の学校体育館で部活、学業行事等で、熱中症による体調不良で病院を受診した件数を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 30 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 文化行政について	(1) 市民栄誉賞の受賞者やニヤハ市との連携など、たのしい暮らしへの提案について伺う (2) 昨年中止になった那覇ハーリーの参加チームへの今年の対応を伺う (3) 新文化芸術発信拠点施設の完成に向けて、外観や緞帳といった常設で見られるデザイン、格闘技などイベント活用など、多様な展開を伺う
		2 公園行政について	(1) 奥武山公園について、J 1 対応サッカー場の進捗やNAHAマラソンの実情など、今後の取り組みを伺う (2) 緑ヶ丘公園について、公園内施設の定期利用など、課題と対応を伺う (3) 新都心公園について、以前から指摘している駐車場の課題と対応を伺う
		3 税制について	(1) 船員に対する住民税の減免措置について伺う (2) 基地や空港に供されている土地への課税に対して様々な意見があるが、那覇市の考えを伺う
		4 経済と行政の連携について	(1) 那覇空港の駐車場や乗り降り場などの課題と対応を伺う (2) 名産品販売や介護食への展開など、自動販売機の活用を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式

総括質問方式
(質問席のみ)